



川俣小学校「学校だより」 輝くひとみ

令和3年10月15日(金) 第27号

教育目標 ☆すすんで学ぶ子ども
☆思いやりのある子ども
☆ねばり強い子ども
☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



スポーツフェスティバル



従来の「白勝て、紅勝て」の運動会から、コロナ禍の下、接触の機会が多くなりがちな団体競技を縮小し、体を思い切り動かす心地よさや楽しさを味わう行事にとの思いで「スポーツフェスティバル」とその名称も変更し、10月23日(土)に秋の体育的行事が行われます。その内容は、全力で



駆け抜ける「徒競走」、運も味方の「チャンスレース」、下学年の「ダンス」発表(3年生がリーダーとなり1・2年生にレクチャーする姿も見られます。)上学年の「鼓笛演奏」、唯一の団体種目「紅白リレー」(上・下学年別)、また、当日にならないと誰が出場権を得るか分からない「最速王に挑戦」(テレビのスポーツ大将、カール君に挑戦のような企画)や東京五輪投てき種目ならぬ「空飛ぶズック」など楽しい種目も計画しています。春に行えなかった体育的行事を清々しい秋空の下、ぜひ実現させたいと思います。右上の写真は、スポーツフェスを盛り上げようと6年生がイラストポスターを作ってくれたものです。気になる来週の天気は、現時点では木曜日から金・土曜日と「晴れ」の予報が続いています。校舎及びプール改修のため例年より校庭が狭く、子どもたちの競技する場所や保護者観覧席も限られたスペースとなり、何かとご不便をおかけしますが、限られた中でも最大限子どもたちが楽しめるイベント「スポーツフェスティバル」になるようにしていきたいと思っています。



全校集会時に伝えたこと



今週は全校集会を久々に全校児童が一堂に会して行うことができました。町陸上競技大会や理科作品展の表彰を行いました。低学年の子たちも立派な姿勢で集会に参加できたことに半年間の成長ぶりを感じました。切磋琢磨し練習に励み挑んだ町陸



上競技大会、互いの本気と全力を競い合ったその他校の好敵手も半年後には同じ学び舎となります。集会では、今のうちから自分たちがさらに身に付けたい「他者を尊重する」感覚や構えについて伝えました。自分と同じように、まわりの級友一人ひとりもかけがえのない存在(それぞれの家庭の宝もの)であること、その大切な存在を傷つけるような言動(いじめ、暴力、差別等)は、決して許されないことについて具体的にお話ししました。成長途中の子どもたちにとって、そのときどきの発達段階でのしっかりとした指導と自身の内省・自覚により、将来にわたってよりよい行動がとれるように導くことが大事に思います。ご家庭でも話題にさせていただきご指導いただければ幸いです。